

令和 3 年度  
学校関係者評価  
報告書

令和 4 年 5 月 16 日  
光塩学園調理製菓専門学校

## 令和3年度 学校関係者評価委員会

1 日 時：令和4年5月9日（月） 17:00～18:00

2 場 所：光塩学園調理製菓専門学校 2階役員室

3 出席者（敬称略）

### <委 員>

- ・今泉 常夫（大通地区西14丁目町内会会長）
- ・萩原 荘介（株式会社ドン・バロン代表取締役）
- ・宮永 尊文（楡法律事務所弁護士）
- ・藪中由理子（医療法人社団円山公園内科理事）
- ・龍 梓（酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校教諭）

\* 五十音順

### <学校側>

- ・南部ユンクィアンしず子（理事長）
- ・福富 徳男（法人事務長）
- ・高橋 俊介（学校長・本会委員長）
- ・野村 一正（校長補佐・教務広報部長）

4 次 第

司会：委員長（高橋）

(1) 開 会

(2) 理事長挨拶

(3) 会議の進め方についての説明

(4) 協 議

ア 学校概要説明

- ・沿革
- ・理念, 教育目標 等
- ・学生の状況 他

イ 令和3年度 自己評価結果の報告及び意見交換

ウ まとめ

(7) 学校長挨拶

(8) 閉 会

## 5 教育理念・教育目標・重点目標

=教育理念=

建学の精神である“光と塩”に基づき、豊かな知性・徳性・技術を磨く。

《教育目標》

情操豊かで、高い見識と専門的な知識・技能を備えた社会人の育成を目指す。

<重点目標>

- (1) 将来、長きに渡り活躍できる職業人を育成する為の教育の質の向上に努める。
- (2) 技術の向上及び社会性を獲得するための指導の推進、改善に努める。
- (3) 各法令、設置基準及びガイドラインに則った適正な学校運営を行う。

## 6 評価項目の取組状況・達成状況

### 1 教育理念・目的・育成人材像

| 評価項目   | 自己評価                |                     |
|--|---------------------|---------------------|
|  | 適切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか<br>(専門分野の特性が明確になっているか) | 4                   | (4)                 |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の3~5年後を見据えた将来構想を抱いているか         | 3                   | (3)                 |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか      | 4                   | (4)                 |
| 学校における職業教育の独自の特色として挙げられているものはあるか               | 4                   | (4)                 |

\* ( ) 内は昨年の評価

#### 〔課題〕

- 建学の精神である「光と塩」をはじめ、教育理念や3つのポリシーを定め、社会や現場で即戦力として活躍できる人材の育成を目指している。しかし、入学者の更なる減少に対しての方策を、前年度に引き続き打ち出していく必要がある。さらに、昨年度より続いているコロナ禍において、どのように実践教育の場を確保していくか、如何に他校との差別化を図るかが課題である。
- キャンパスガイドやホームページ等を通じて周知に努めているが、コロナ禍においての情報発信について検討する必要がある。

#### 〔改善の方策〕

- 本校の理念を基軸として、時代のニーズに合わせたカリキュラムを編成することで他校との差別化をさらに図っていく。
- 保護者向けのパンフレット（学園パンフレット：現在作成中）を作成し、本校の教育理念の発信を図る。
- 卒業生とのネットワークの広さは他校よりも優れていると思われる。これを如何に活かしていくか検討する余地がある。

#### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- コロナ禍の影響により、テイクアウトの需要が増加しており、それによって今後伸びてくる業界も出てくる為、そのような実践学習を取り入れることを検討してはどうでしょうか。

## 2 学校運営

| 評価項目                                     | 自己評価                |                     |
|--|---------------------|---------------------|
|  | 適切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 目的等に沿った運営方針および事業計画が策定されているか              | 4                   | (4)                 |
| 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4                   | (4)                 |
| 人事、給与に関する規程等は整備されているか                    | 4                   | (4)                 |
| 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                 | 4                   | (4)                 |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | 4                   | (4)                 |

### 〔課題〕

- 教育理念、教育目標等の方針が定められているが、事業計画の職員への周知が不十分である。
- 学校組織において、人員減少による職員の効率的かつ機能的な配置について難航している。

### 〔改善の方策〕

- コロナ禍が続くことを踏まえた柔軟な事業計画の策定を目指し、職員への共有を図る。
- 各部署の評価体制を整備し、業務の公平化および適材適所の人員配置を目指す（昨年度からの課題）。

### 〔特記事項〕

- 昨年度より、本校独自の求人情報アプリ「スタログ」を導入し、教員と学生の就職情報の共有がより促された。

### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 学生との連絡ツールとして Google classroom のオンライン授業システムツールがあるので、検討してもよいかもしれません。

### 3 教育活動

| 評価項目  | 自己評価                |                     |
|---|---------------------|---------------------|
|   | 適切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                             | 4                   | (4)                 |
| 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4                   | (4)                 |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                     | 4                   | (4)                 |
| 関連分野における実践的な職業教育（校外実習等）が体系的に位置づけられているか                      | 4                   | (4)                 |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか  | 3                   | (3)                 |
| 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか                                 | 4                   | (4)                 |
| 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                              | 4                   | (4)                 |
| 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                        | 4                   | (4)                 |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                     | 4                   | (4)                 |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか                                      | 3                   | (3)                 |
| 他の教育機関との間の単位互換に関する明確な基準はあるか                                 | 4                   | (4)                 |

#### 〔課題〕

- ・社会環境が日々変化する中で、本校のカリキュラムが社会のニーズに即したものが検証する体制が不十分である。

#### 〔改善の方策〕

- ・「学校関係者評価委員会」をはじめ、学外者や多方面からの意見を頂ける機会を増やす具体的策を挙げ、実施する。
- ・社会に適應できるマナー講座やメンタルトレーニング講座などを取り入れる科目を検討
- ・授業評価の体制を体系化し、実施する。

#### 〔特記事項〕

- ・年2回実施している校外実習は、新型コロナの影響で実施できなかった。
- ・新型コロナの影響により、教職員の道外研修・校内研修は実施できなかった。

#### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- ・特になし。

#### 4 学習成果

| 評価項目                       | 自己評価                |                     |
|----------------------------|---------------------|---------------------|
|                            | 適切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 就職率の向上が図られているか             | 4                   | (4)                 |
| 資格取得率の向上が図られているか           | 4                   | (4)                 |
| 退学率の低減が図られているか             | 3                   | (3)                 |
| 卒業生・在校生の外部での活躍及び評価を把握しているか | 4                   | (4)                 |

##### 〔課題〕

- ・製菓衛生師試験に向けた対策授業を行っているが、今年度の合格率は89%（昨年度は84%）であった。より高い合格率を目指す。
- ・退学者については、国の修学支援制度により経済的理由による退学者が減ったりと昨年度より減少傾向となっているが、引き続き担任と保護者との連携と個別面談等で軽減を図る必要がある。また、担任の対応にも若干の個人差が見られる。

##### 〔改善の方策〕

- ・製菓衛生師試験に向けた対策授業のより充実化を図るとともに、意識と意欲を高めるための継続的な意識喚起が必要である。
- ・これまで以上に担任と保護者との連携を密にすることや精神面で課題を抱える学生の早期発見・面談実施など、教職員の意識をより高め、それらの意思統一を図るための方策を実施する。

##### 〔特記事項〕

- ・就職については、今年度は新型コロナの影響で年度当初はかなり厳しい状況だったが奮闘している。各企業の学内説明会（オンラインも含め）を開催したり、求人情報アプリ「スタログ」を利用することによって学生の意識向上を図られている。

##### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- ・特になし。

## 5 学生支援

| 評価項目                      | 自己評価                |                     |
|---------------------------|---------------------|---------------------|
|                           | 適切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか    | 4                   | (4)                 |
| 学生相談に関する体制は整備されているか       | 3                   | (4)                 |
| 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか   | 4                   | (4)                 |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか        | 3                   | (4)                 |
| 保護者と適切に連携しているか            | 4                   | (3)                 |
| 卒業生への支援体制はあるか             | 3                   | (4)                 |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 3                   | (4)                 |

### 〔課題〕

- ・例年、精神面での悩みを持って入学する学生が一定数存在する。
- ・社会人を含めた学生のニーズに答えているが、年齢による再就職に対してのハンデがあり、就職支援が課題となっている。

### 〔改善の方策〕

- ・学生相談については、各教員が学生にとって相談しやすく話しやすい環境を作る努力をする。場合によっては専門家の助力を仰ぐ。
- ・社会人経験者のアピールポイントについて求人先に理解を求める努力をする。社会人学生に配慮し、長期履修制度等の導入の必要性を検討する。

### 〔特記事項〕

- ・学園としての同窓会組織があり、年に1度の交流会や種々情報の提供を心掛けているが、今年度は新型コロナの影響により中止となった。
- ・卒業生が相談に来た際には、いつでも就職等の対応や情報提供を行っている。
- ・働きながら学ぶ教育環境として道内唯一の夜間部を設置していたが、学生数減少等の理由から2022年度以降の募集は停止した。

### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- ・特になし。



## 6 教育環境

| 評 価 項 目                                    | 自 己 評 価              |                     |
|--|----------------------|---------------------|
|  | 適 切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 施設・設備は、メンテナンスも含め教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか  | 4                    | (4)                 |
| 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3                    | (4)                 |
| 避難訓練を含む防災に対する体制は整備されているか                   | 4                    | (4)                 |

### 〔課題〕

- これまで新型コロナ対策のための整備は行っているが、今後、さらにコロナ禍が続くようであれば、コロナ対策における整備をより充実させる必要がある。
- 計画的な全体の修繕及びメンテナンスを実施しているが、AV 機器の一部に老朽化したものや時代に合わなくなったものなどがある。
- 新型コロナの影響により、道外から招聘の講師による特別授業は実施出来たが、校外実習や海外研修が実施できていない。

### 〔改善の方策〕

- 新型コロナ対策の整備が充分であるか、感染状況を常に把握し、常時検討する。
- 設備の全体のメンテナンスを行ったうえで、AV 機器の老朽化の対応を検討する。

### 〔特記事項〕

- 来年度は、専門学校に保育園が併設されるため、防災体制の構築・連携が必要である。

### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 特になし。

## 7 学生の受け入れ募集

| 評 価 項 目                     | 自 己 評 価              |                     |
|-----------------------------|----------------------|---------------------|
|                             | 適 切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 学生募集活動は、適正に行われているか          | 4                    | (4)                 |
| 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4                    | (4)                 |
| 入学選考は、適正に行われているか            | 4                    | (4)                 |
| 学納金は妥当なものとなっているか            | 4                    | (4)                 |
| 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制はあるか    | 4                    | (4)                 |

### 〔課題〕

- 新型コロナの影響により、オープンキャンパス等のイベント実施回数を減らさざるを得ない状況の中で、インスタグラム等で在校生の授業風景や卒業生の近況などを伝えてきたが、入学生は大幅に減少している。

### 〔改善の方策〕

- コロナ禍における募集活動において何が出来るか、どのように行っていくかを協議し、実施する。

### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 特になし。</li> </ul> |
|---|

## 8 財 務

| 評 価 項 目                  | 自 己 評 価              |                     |
|--------------------------|----------------------|---------------------|
|                          | 適 切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 3                    | (4)                 |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4                    | (4)                 |
| 財務について会計監査が適正に行われているか    | 4                    | (4)                 |
| 財務情報公開の体制整備はできているか       | 4                    | (4)                 |

### 〔課題〕

- 今後の少子化による更なる学生数の減少が考えられるなかで、如何に学生数を確保するか。その学生数でどのような運営を行っていくか。

### 〔改善の方策〕

- 入学者の減少に対する適正人員の配置により経営の効率化を図るとともに、適切かつ効率的な予算配分について検討する。

### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 特になし。</li> </ul> |
|---|

## 9 法令等の遵守

| 評価項目                                | 自己評価                |                     |
|-------------------------------------|---------------------|---------------------|
|                                     | 適切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか           | 4                   | (4)                 |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか          | 4                   | (4)                 |
| 自己評価を実施するとともにその結果を公開し、問題点の改善に努めているか | 4                   | (4)                 |
| 個人情報に関し、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか     | 3                   | (3)                 |

### 〔課題〕

- SNS の発信における個人情報保護の管理体制を整備する必要がある。
- 個人情報の取扱いに関して、学生に対する啓発活動はおこなっているがその理解度については不明である。また、職員対象の活動は不十分である

### 〔改善の方策〕

- 個人情報の取扱いについてのルールを明文化し、職員で共有する。
- 個人情報に係る学生に対する啓発については今後も不断で継続的な指導を行っていく。また、学生への指導に係る教職員の研修の機会を設ける。さらに、問題が起きた際の対処フローなどの規定を定める。

### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 法改正により、成人年齢が 18 歳になったことで、ローンやクレジットカードの使用による金銭トラブルに注意が必要になるかもしれません。基本的には家庭での教育によるが、学校がどのように関わっていくか検討の余地があると思います。

## 10 社会貢献・地域貢献

| 評価項目  | 自己評価                |                     |
|---|---------------------|---------------------|
|   | 適切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか             | 3                   | (4)                 |
| 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 4                   | (4)                 |
| 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 3                   | (4)                 |

### 〔特記事項〕

- ・新型コロナの影響により、養護学校・視覚支援学校の学生とのふれあい授業などの活動を自粛せざるを得なかった。しかし、町内会の春、秋2回の清掃行事には参加できた。

### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- ・毎年、多くの学生がボランティアで街路樹の花壇作りを手伝ってくれていて、大変綺麗とのお言葉をいただいており大変感謝しています。
- ・地域との交流として、料理講習会の企画を検討いただきたいです。

## 11 国際交流

| 評価項目                                | 自己評価                |                     |
|-------------------------------------|---------------------|---------------------|
|                                     | 適切...4<br>やや不適切...2 | ほぼ適切...3<br>不適切...1 |
| 海外研修や留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか     | 3                   | (3)                 |
| 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 4                   | (4)                 |
| 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか   | 4                   | (3)                 |

### 〔特記事項〕

- ・海外研修旅行は新型コロナの影響により実施出来ていない。同様に短期留学生の受け入れも行えていないが、外国籍の学生の入学は行っている。
- ・留学生の在籍管理について札幌入国管理局から適正校の認定を受けている。

### 【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- ・特になし。

## 7 全体を通じての意見、提言 等

- ・現在、現場では人手不足が深刻な問題となっている。卒業した学生とのマッチングが上手く出来るとよいと思います。
- ・インスタグラム等のSNSの影響力は大きく、投稿を外注したりSNS用の写真を撮る専門家もいるので学生募集においても検討するのもよいかもしれません。
- ・どの学校も学生数の確保には苦労していると思われます。他校と比較して、光塩の強みを見出し、差別化を図っていくべきかと思います。
- ・入学生を地域別で見ると、開拓するとよいエリアがありそうなので検討してみてもいいでしょうか。
- ・高齢化が進み、訪問診療の需要が高まることが予想され、そこでその方に合った美味しい食事が提供出来たらとても喜ばれることが予想されます。健康にとって食は大変大切なもので、光塩と何かしらの取り組みが出来たら素晴らしいと思います。
- ・学生数の確保はとても大変かと思います。社会人をターゲットにしたコースを検討してはいかがでしょうか。

## 8 学校関係者評価の総括と今後に向けての改善の方策について

### 《目標・方策》

#### 1. コロナ禍の影響による社会環境の変化に対する本校のカリキュラムの対応

未だに収束しないコロナ禍において、大半の学生の就職先である飲食業界も大きく変化が起きている。これまでの考え方は持ちつつも、これからの業界に求められる人材は何かを検証することが肝要である。現場のニーズを調査、解析し、それらをカリキュラムにいかに関り込んでいくかを検討する。

#### 2. 学生数確保に向けた本校の強みの再検証

入学生数の減少が続いていく中で、高校生に向けて如何に本校の良さをアピールするかを検討する。その為に今一度本校の強みとは何か、他校との差別化を如何に図るかを検証する必要がある。それらをコロナ禍が続く中で、どのように広報活動を進めていくかを検証し、実施する。

#### 3. SNS やオンライン授業支援ツールなどの利用について

これまで、インスタグラムやフェイスブックなどの SNS を通して学校の情報発信を行い、広報活動を行ってきた。今後も引き続き行っていくが、その中でより効率的な作業分担や情報内容の質の向上を図る。また、様々なオンライン授業支援ツールが利用出来るようになり、学生との情報のやり取りがオンライン上で出来るようになった。職員数の減少に伴い、作業の効率化が求められており、このようなツールの導入も検討する必要がある。その際は学生にとって負担とならないか、現状と照らし合わせて検証し選択していく。

### 《まとめ》

光塩学園は、昭和 23 年の開学から現在まで、現場経験豊富な指導陣による実践的な教育を通じて専門的な知識・技能を備えた人材を多く輩出してきた歴史がある。

昨年度の委員会は新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面での実施となった。今年度は、未だ収束はしていないが、感染対策を講じながら対面での実施が出来たことは大変嬉しく感じている。今年度から、新たに地域有識者として今泉様、企業経営者として萩原様に参加いただき、貴重なご意見等いただくことが出来た。また、引き続き委員となってくださった皆様からも愛あるお言葉を頂いた。心より感謝申し上げます。

今年度は昨年度から引き続きコロナ禍による制限が多かったが、その中でも出来ることは徐々に増えてきたと感じている。国際交流などの本校がこれまで行ってきたことはまだ従来の通り行えないが、オンラインや動画による講習会などで出来ることからこれからも進めていきたい。

委員の皆様からのご助言等を参考に、今回は 3 つの方策を掲げることとした。以前のものの引き続き取り組みつつ、学生にとって最も良い学習環境を提供することをモットーにこれからの時代に対応するために出来ることは果敢にチャレンジしていきたい。

文責：高橋 俊介（学校長・本会委員長）